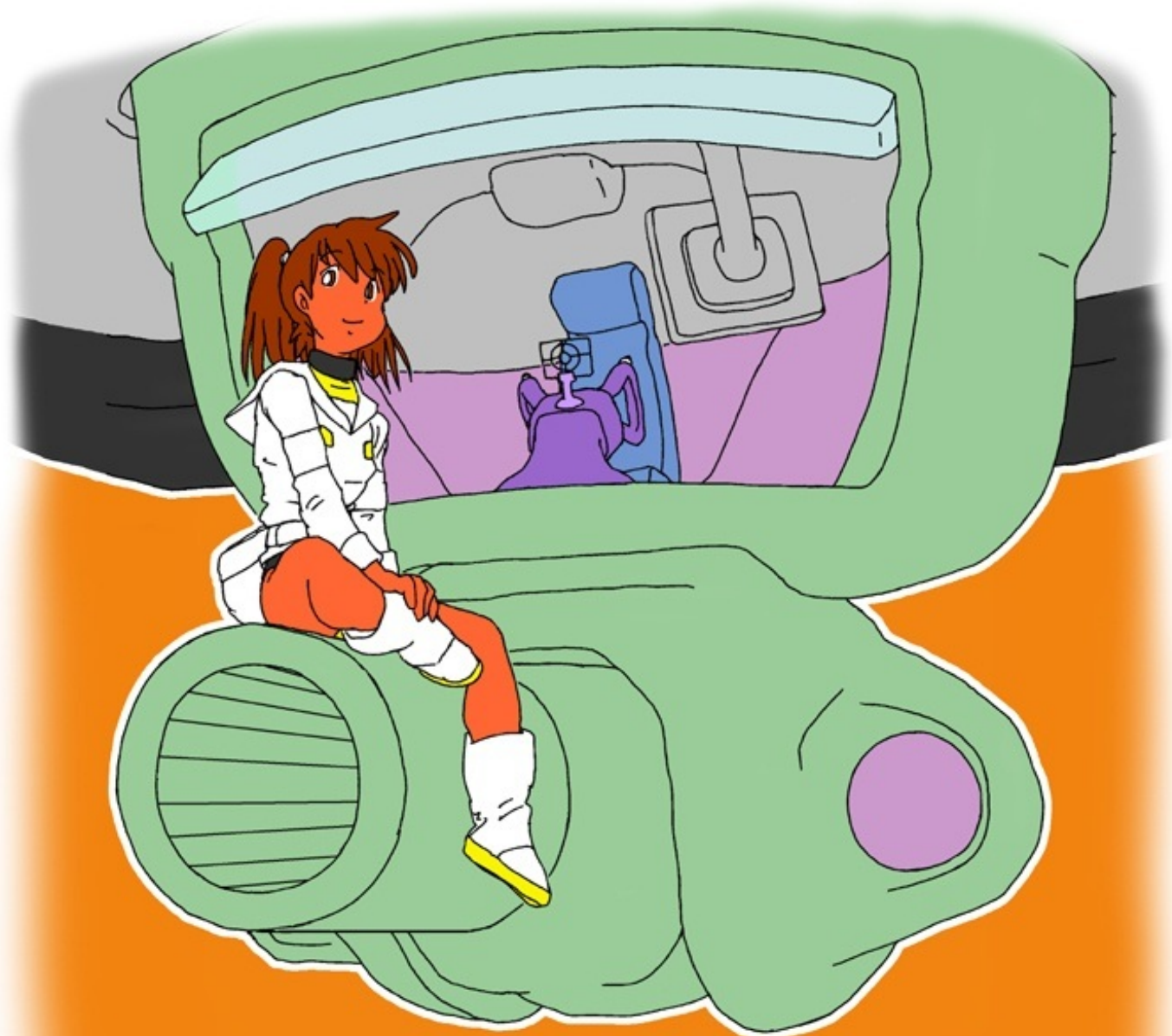


FLOATOPIA

フロートピア

ACT 4

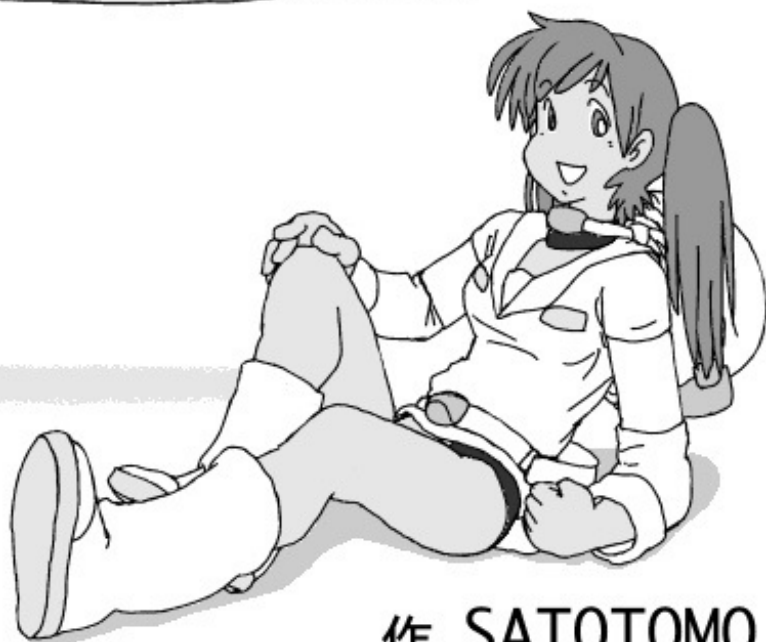
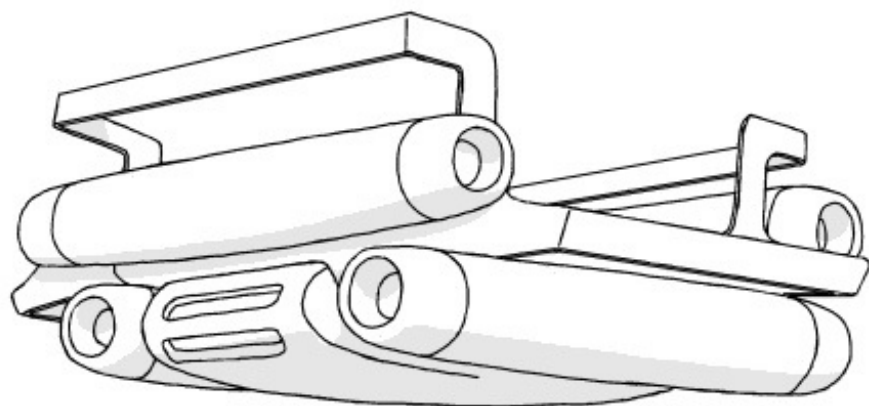


作 SATOTOMO

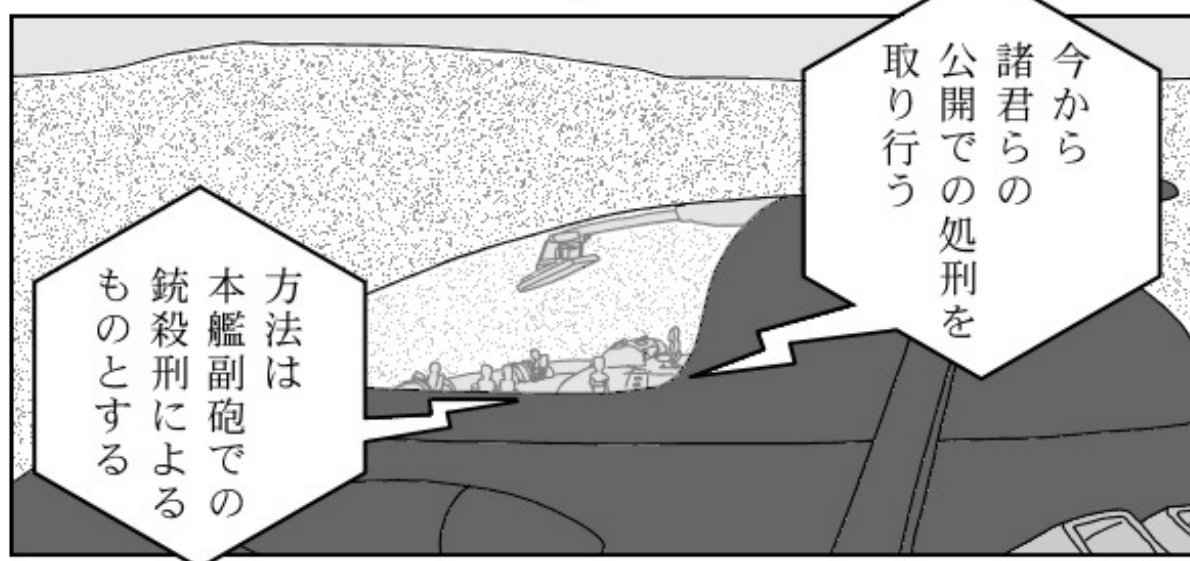
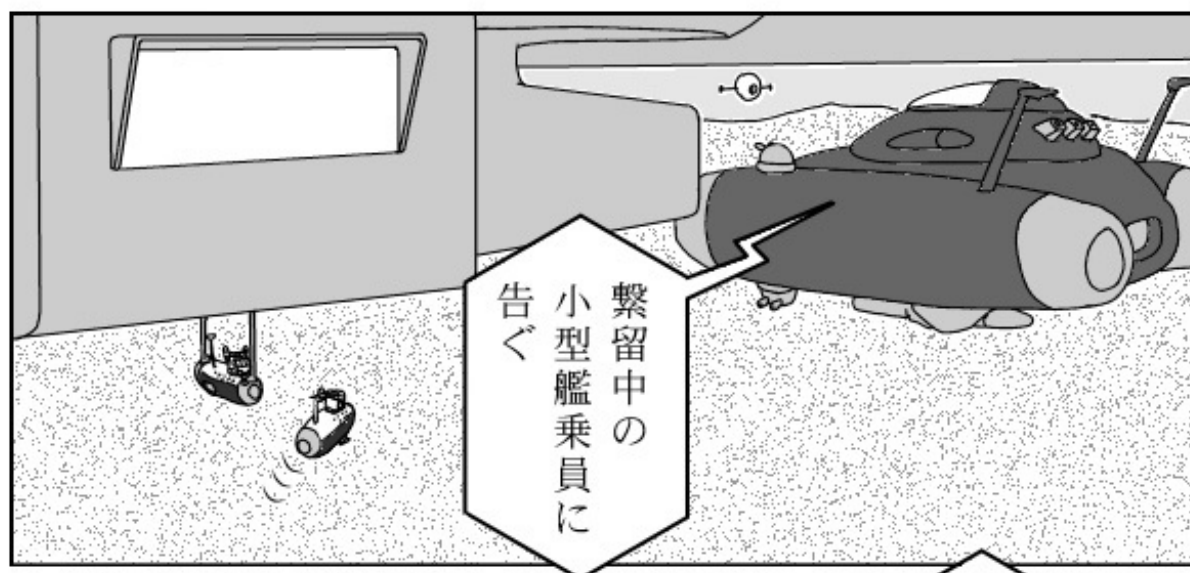
FLOATOPIA

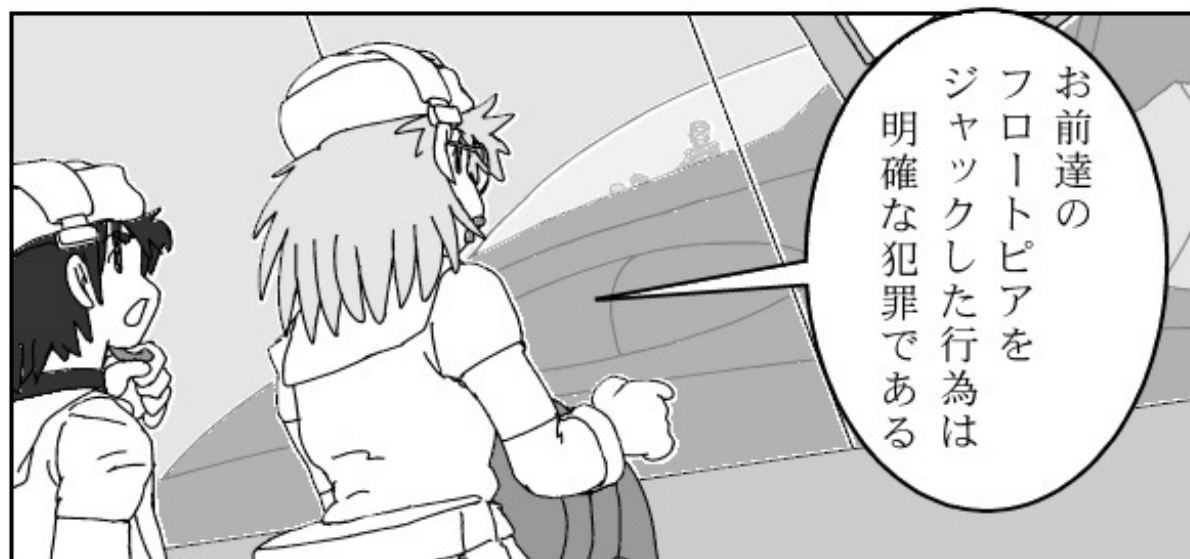
フロートピア

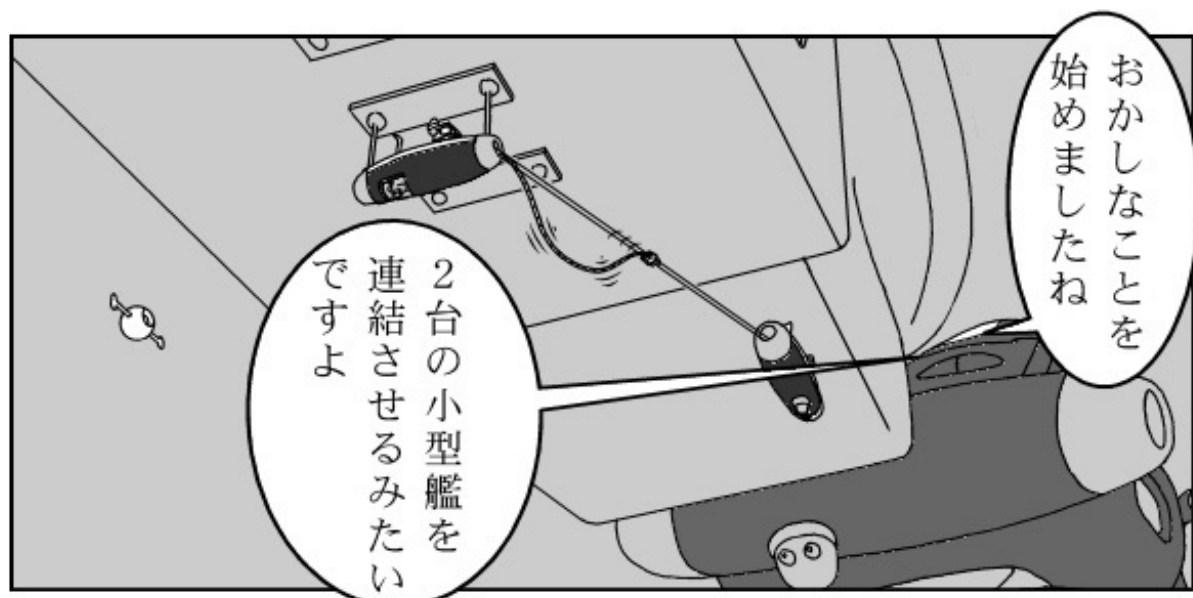
ACT 4



作 SATOTOMO

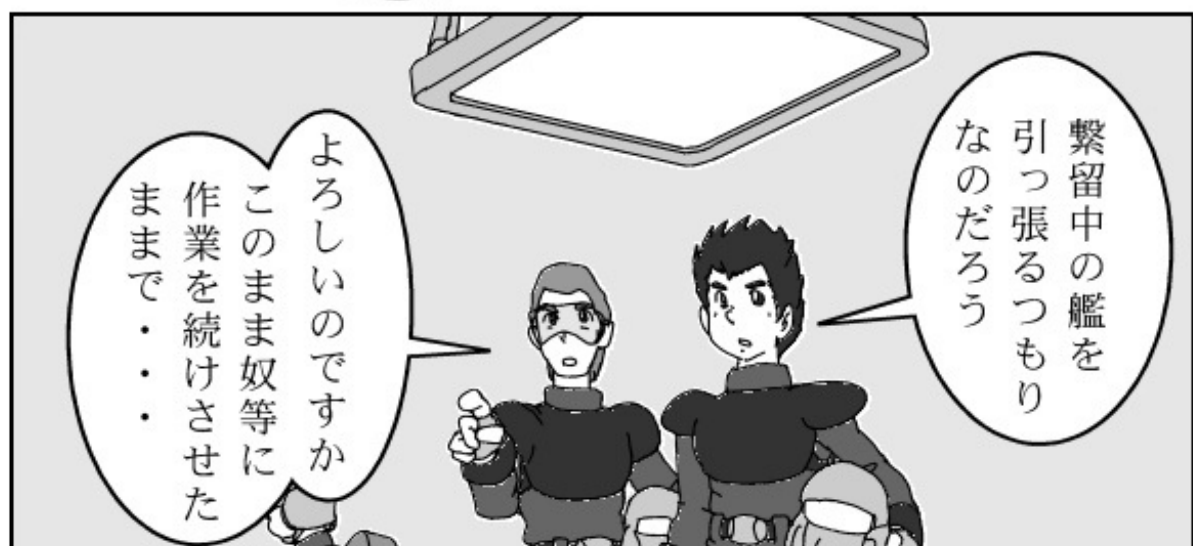






おかしなことを
始めましたね

2台の小型艦を
連結させるみたい
ですよ



繫留中の艦を
引っ張るつもり
なのだろう

よろしいのですか
このまま奴等に
作業を続けさせた
ままです・・・



構うことはない
副砲のエネルギー
満充填まで
あと3分ほど

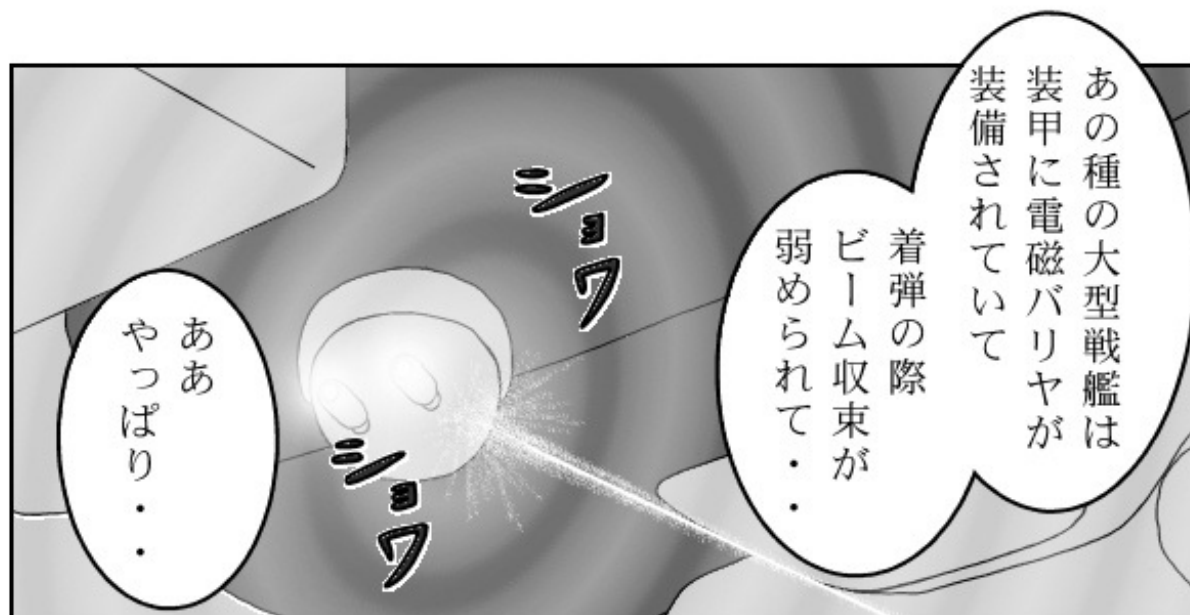
連中が
今行っている
努力も
全て
水泡に帰すこと
になるだろう











あの種の大型戦艦は
装甲に電磁バリヤが
装備されていて

着弾の際
ビーム収束が
弱められて・
・

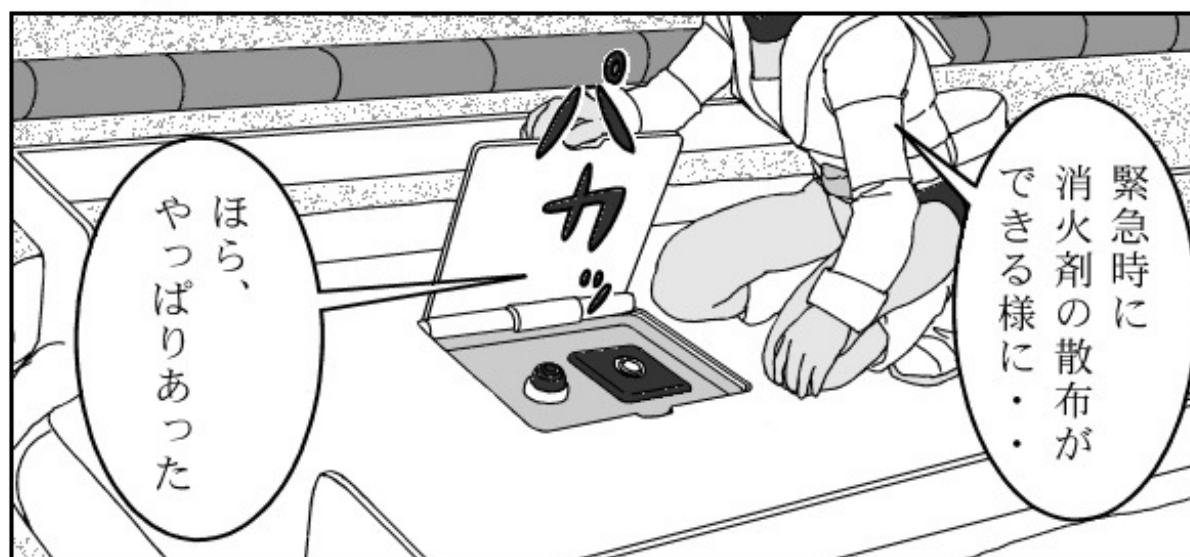
ああ
やっぱり・
・



ちよつと待って
そうだわ

敵の副砲も
エネルギー収束を
弱められれば

このフローターも
一応、工事作業用の
ツールなのだから

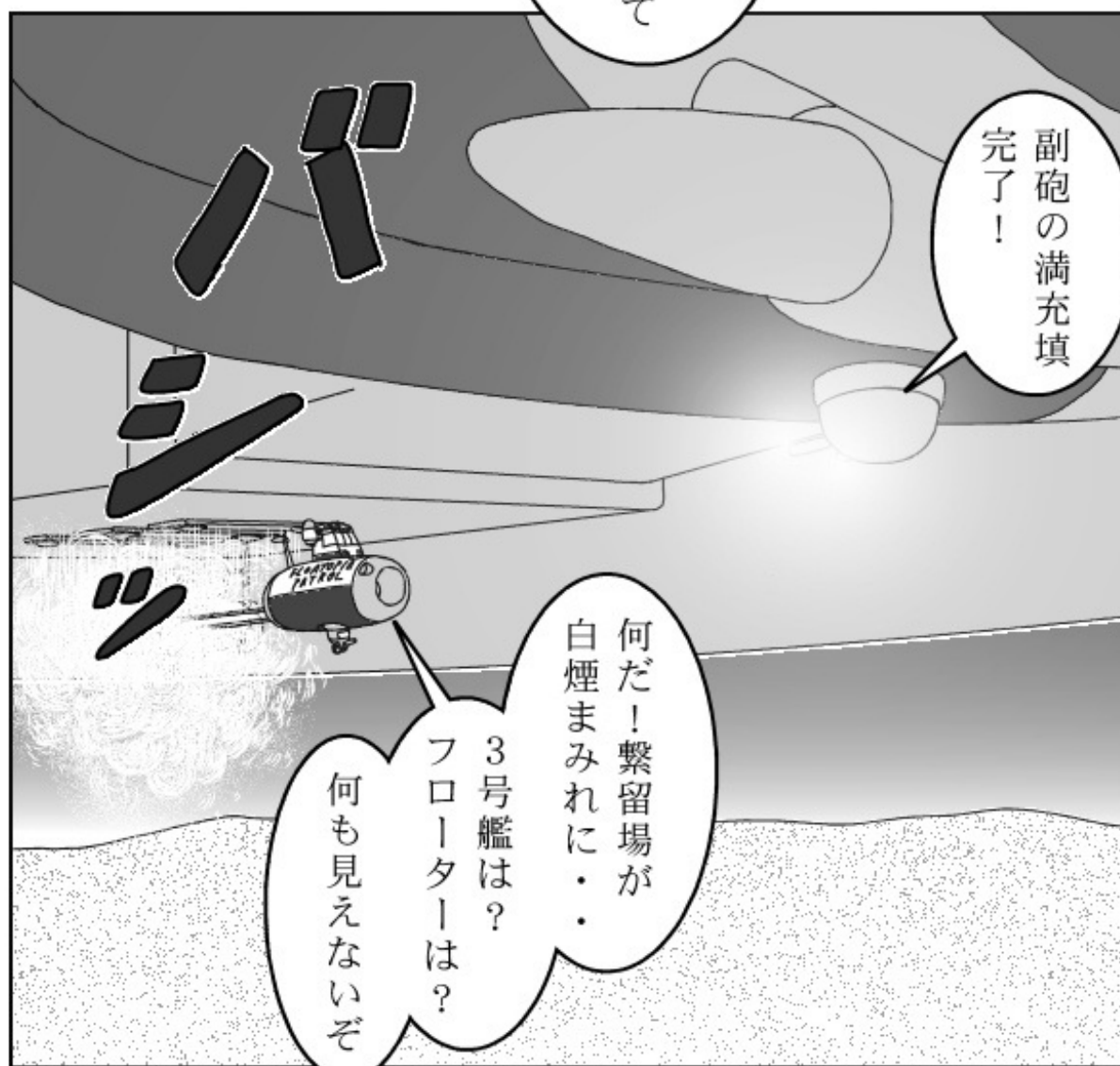


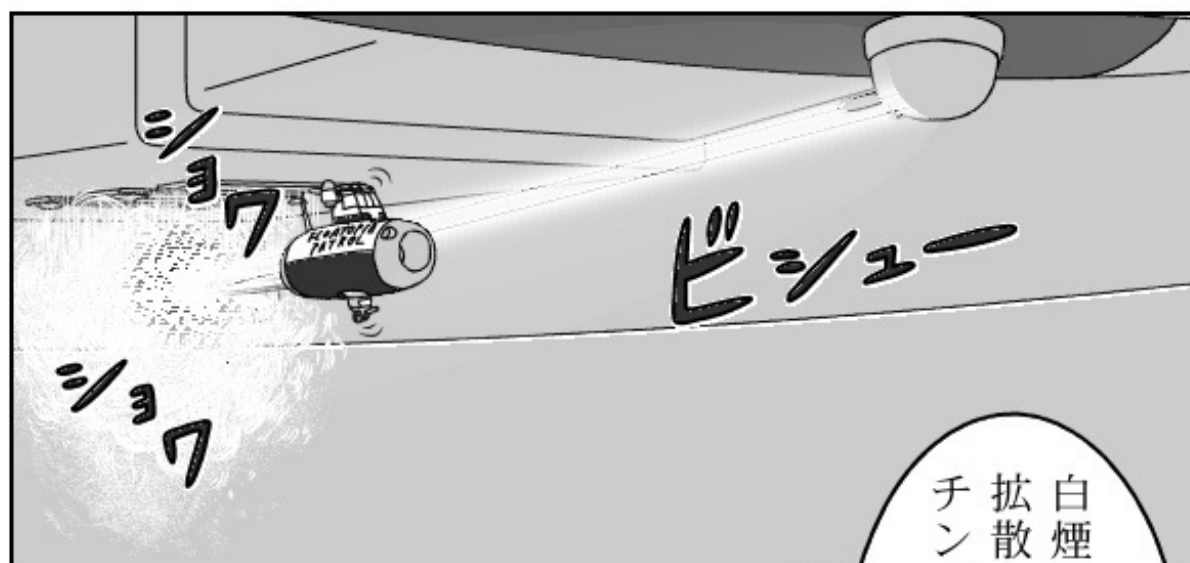
緊急時に
消火剤の散布が
できる様に・
・

ほら、
やっぱりあった



この距離でも
無線に感応して
よね！





白煙は消火剤です
拡散した粒子が
チンダル効果を生じ

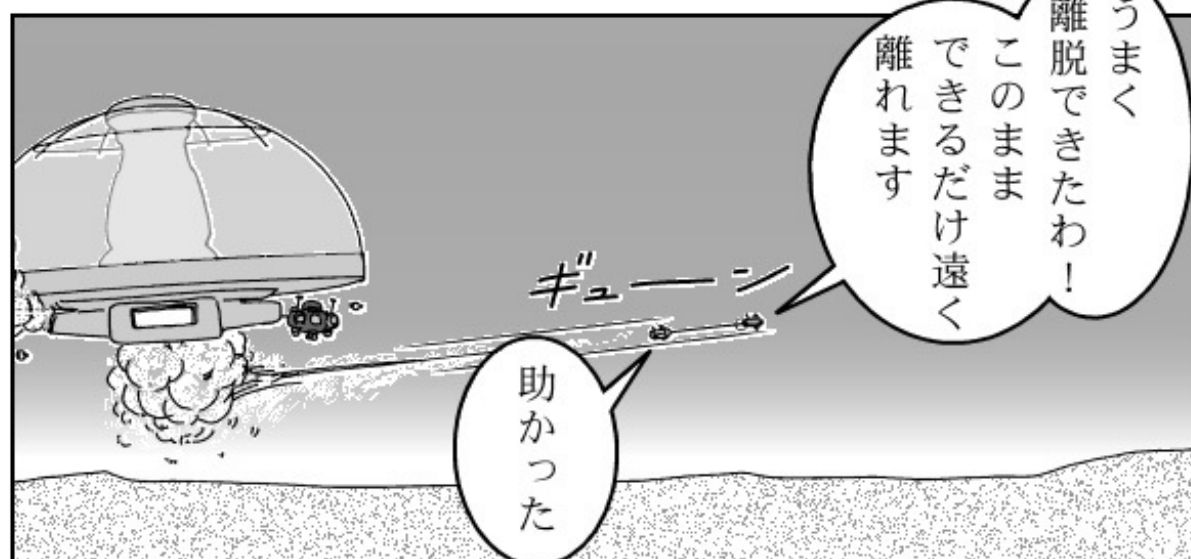
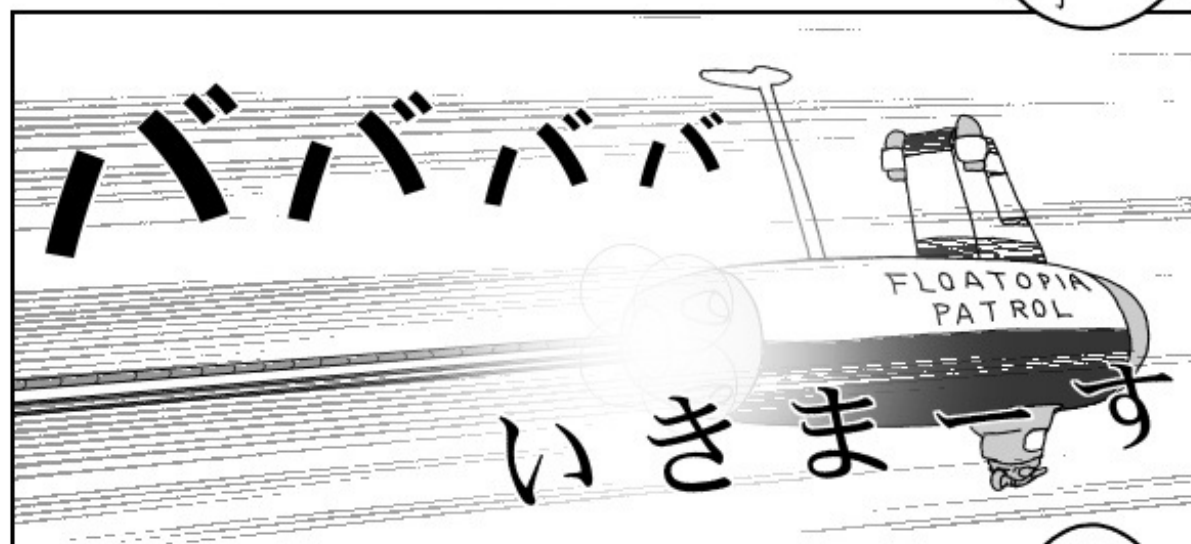
バリヤになって
います

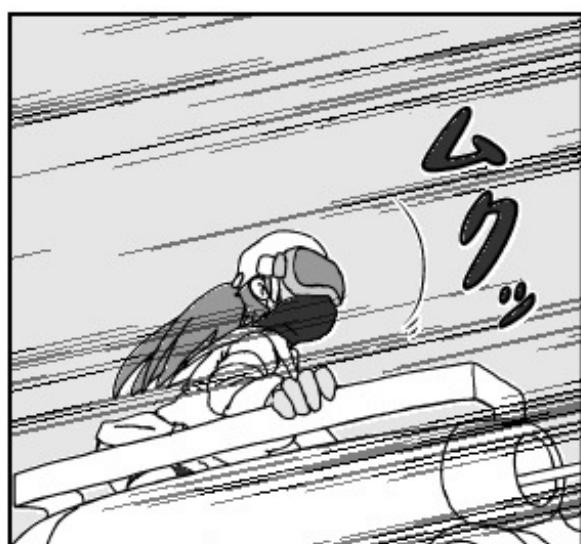
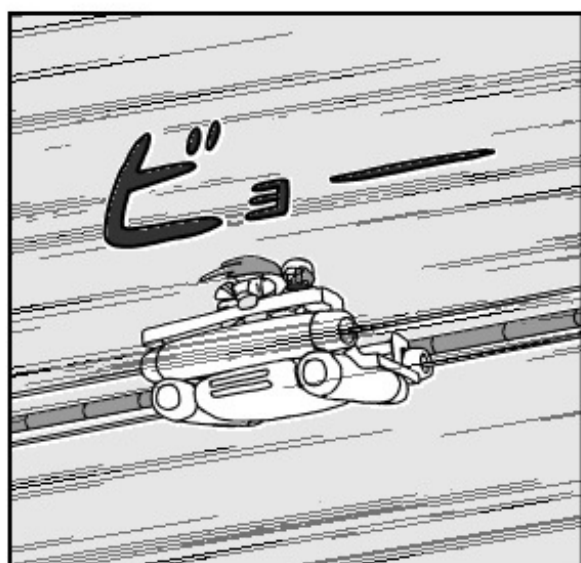
標的の小型艦は
ダメージ・ゼロ
の様



畜生！ 白煙の中は
どうなっているんだ

パメラ
無事でいてくれ





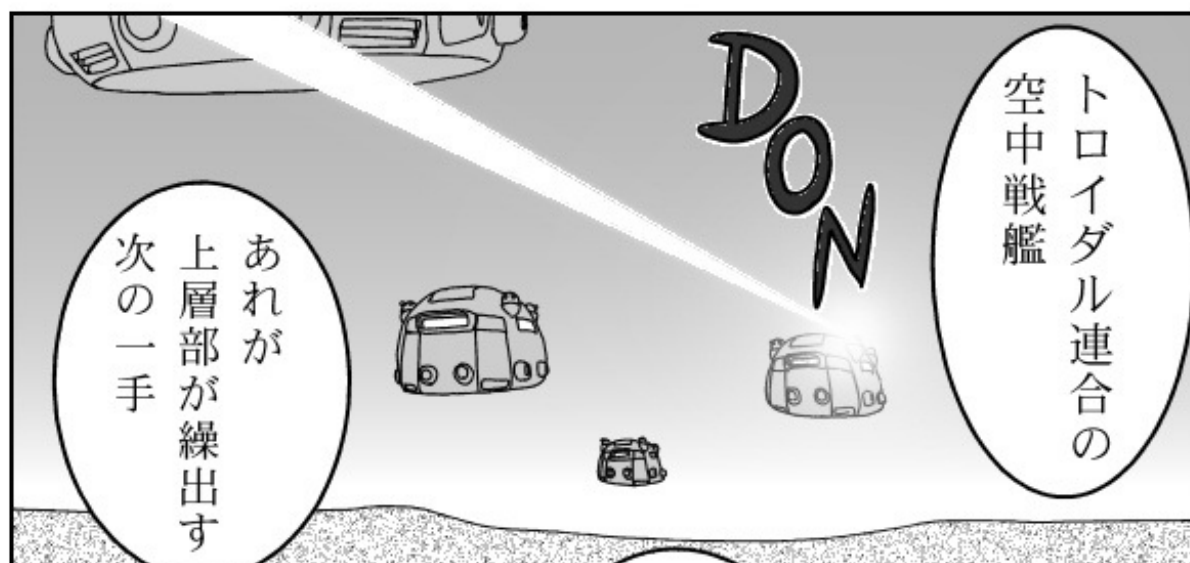


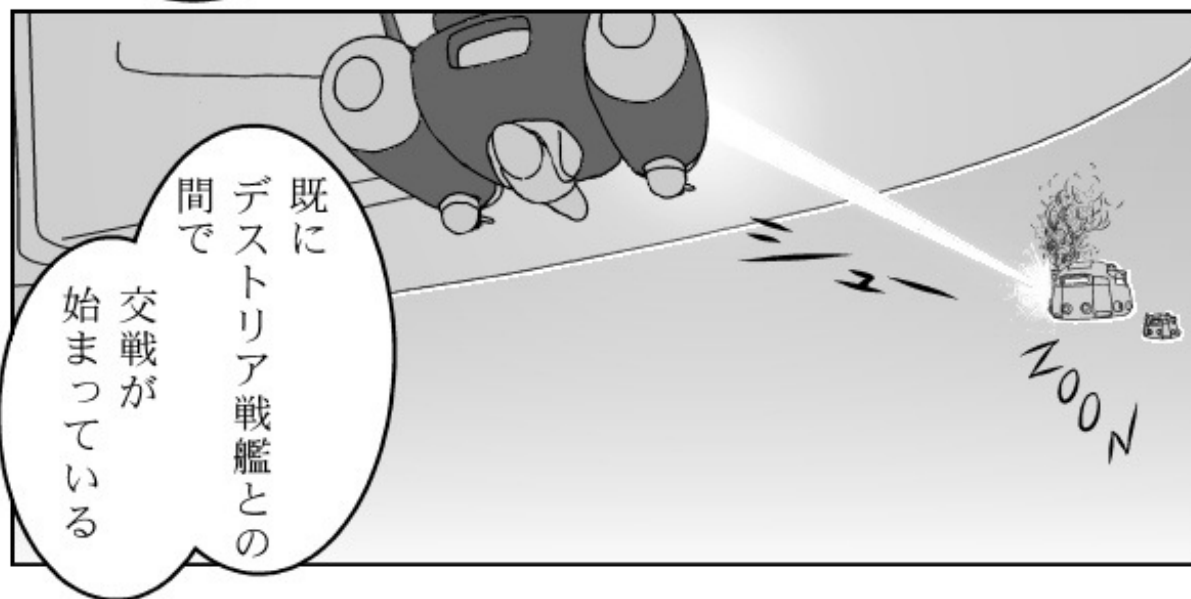
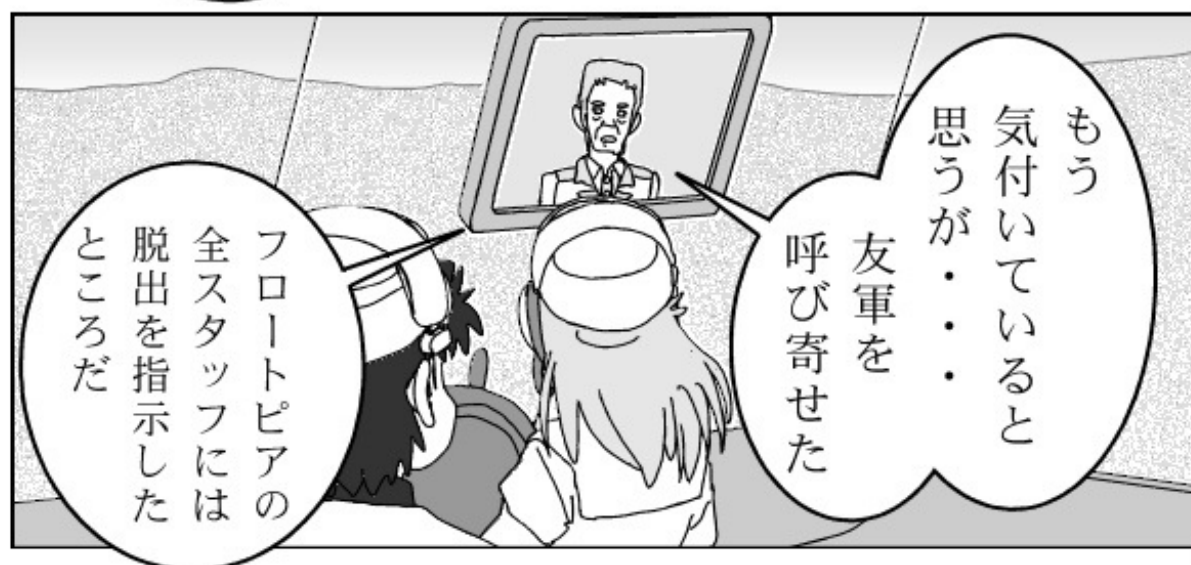
あれ？
空中戦艦が...

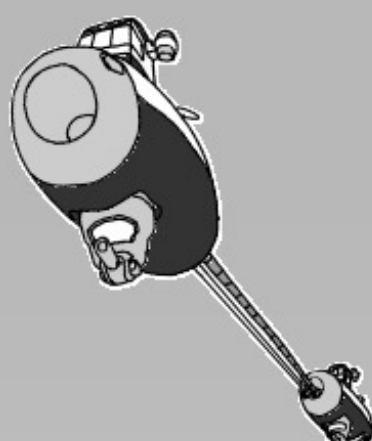
何処を狙って
撃っているの？

砲撃の方向に見える
あれは何？
こちらへ飛来してきて
いるみたいだけど

あれって
もしかして

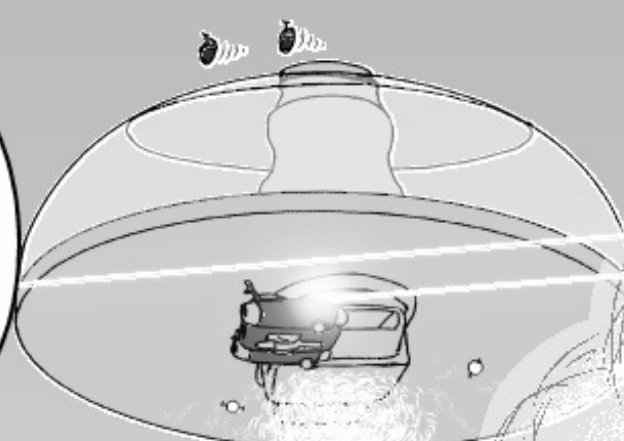







緊急脱出マニュアル
レベル5の規定に
従って

各自の判断で
ここら一帯の
施設周辺から
離れてくれ



了解しました
幸運を
お祈りします



そちらもだ
無事に脱出
できたなら
規定の時刻に
規定の場所で
再会しよう

おしまい

FLOATOPIA ACT4

作者 SATOTOMO

E-mail BXJ05041@nifty.com

URL <http://satotomo.la.coocan.jp>

2014年1月18日

本書の一部または全部を無断で
複製することは禁止します。

FLOATOPIA ACT4

<http://p.booklog.jp/book/81676>

著者 : SATOTOMO

著者プロフィール : <http://p.booklog.jp/users/satotomoyuki/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/81676>

ブックログ本棚へ入れる

<http://booklog.jp/item/3/81676>

電子書籍プラットフォーム : ブクログのパー (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社 : 株式会社ブクログ